

「（仮称）道の駅姫路」基本計画
骨子案（目次部分）

●基本計画の目次案

※今後の検討で変わる可能性があります

第1章 はじめに

- 1 「道の駅」とは
- 2 基本構想における整備の目的と整備コンセプト
- 3 基本構想における導入機能

第2章 基本方針

- 1 基本方針
- 2 事業対象地
- 3 敷地条件の整理
- 4 ヒアリング調査

詳しくは資料3で機能を整理してあります。

なお、機能の分類は再整理する予定です。

第3章 導入機能

- 1 休憩機能
- 2 情報発信機能
- 3 地域連携機能
- 4 利便性・魅力向上機能
- 5 交流機能

第4章 施設規模

- 1 施設規模の検討の流れ
- 2 施設規模の算定基準

3 計画交通量

4 計画駐車まず数

5 施設規模と敷地規模

第5章 施設配置

1 施設配置の考え方

2 ゾーニング案の検討

3 施設配置図（案）

第6章 整備・管理運営手法

1 整備主体と整備方法

2 整備・管理運営手法の検討

3 事業収支計画

第7章 計画実現に向けた進め方

1 概算事業費

2 インフラ計画

3 今後のスケジュール

4 利用可能な補助制度

5 実現に向けた課題の整理

●基本計画の目的（第1回懇話会のおさらい）

姫路市が目指す道の駅の機能や規模などの具体的なイメージを示し、設計の条件を決定する。

この後の流れは？

- ・従来型の整備手法であれば、基本計画をもとに設計業務
- ・官民連携の整備手法であれば、基本計画をもとに事業者からの提案を受け、最も良い提案内容に基づく設計を行う。

基本計画に書かれていないものや、提案されていないものを設計段階になってから入れることは困難→**姫路の思いを反映させる必要**

●基本計画骨子の目的

基本計画の議論の方向性を示す。

●基本計画骨子の内容

- ① 基本計画に記載する内容を目次ベースで示す。
- ② 基本計画の2つの主な内容（機能、規模）のうち「姫路の思い」の要素が大きい「機能」のイメージを示す。

●基本計画骨子の使い道

基本計画策定の基礎になるのはもちろんですが、これをもとに民間事業者へサウンディング型市場調査を行います。その結果を踏まえ、基本計画のパブコメ案を次回懇話会でお示しします。

●基本計画**骨子** 議論のポイント

- ・ 繰り返しになりますが、基本計画に書かれていないものや、提案されていないものを設計段階になってから入れることは困難なので、姫路の思いを今！この基本計画に反映させることが重要です。
- ・ 民間事業者へのサウンディングで実現性は改めて吟味するので、骨子の段階では、実現性があるかどうかわからない機能が記載されていても大丈夫です。

●基本計画**骨子** 議論のポイント

- ・ 座長の三宅先生との事前打ち合わせでも、次の点を考慮のうえ委員、オブザーバーの皆様のお知恵を拝借したいという投げかけがありました。
 - 新しい道の駅を創るということは新しいものを生み出すということなので、既存の価値観にとらわれず、10年先を見据えた価値創造をお願いしたい。どの機能に分類されるのか分からないものでも構いません。
 - 今から作る道の駅だからこそ新しいことにチャレンジする必要がある。少しがった機能（キャッチーなもの）を1つでもいいので打ち出していきたいので、いいものがあったら是非紹介していただきたい。